

応募要項

I. 名古屋市立大学大学院医学研究科教員選考規程 (抜粋)

第2条 教授は次の各号に該当する者の中から選考する。

- (1) 大学卒業後10年以上の専門経歴があること。
- (2) 健康にして人格高潔であること。
- (3) 学位または研究業績があること。
- (4) 研究および教授上の能力があること。

(注) 専門経歴は2008年(平成20年)6月18日までの期間で計算する。狭義の分野に特定せず、広く関連分野の教育・研究経歴も含む。

II. 書類作成上の注意

1. 応募書類

- | | |
|---------------------------------|-------|
| (1) 履歴書 (別紙様式1) | 1 部 |
| (2) 教育・研究活動・特許等一覧 (別紙様式2-1～2-3) | 1 式 |
| (3) 業績目録 (別紙様式3-1～3-5) | 1 式 |
| (4) 業績集計表 (別紙様式4-1～4-2) | 1 式 |
| (5) 論文別刷(原著) (10 編以内、コピー可) | 各 1 部 |
| (6) 別刷論文の要旨 (別紙様式5) | 1 部 |

2. 記載要領

様式は<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/position.dir/>よりWord・Excelのファイルをダウンロードして利用してください。履歴書の署名を除き、他はワードプロセッサなどで作成した印刷文字(11～12ポイント程度の文字サイズ)を使用する。可能であれば、和文はMS Pゴシック、欧文はTimes New Romanを使用する。

(1) 履歴書 (別紙様式1)

- 1 年齢は2008年(平成20年)6月18日時点での満年齢を記載する。
- 2 本籍地は都道府県名のみ、外国人の場合国籍は国名のみを記載する。
- 3 現住所・現勤務先のうち、希望する連絡先の□に×印を付ける。
- 4 学歴は高等学校卒業以降を記載する。
- 5 学位には授与大学名および授与年月を記載する。
- 6 免許(獣医師免許・医師免許・歯科医師免許・薬剤師免許等)には取得年月と登録番号を記載する。
- 7 職歴に空白期間のある場合は説明を付ける。
- 8 海外留学または海外出張(3ヶ月以上)は職歴に記載する。海外での受け入れ施設名、国名、期間、身分を原語で記載する。
- 9 賞罰については学会賞などの受賞について記入する。
- 10 各欄が不足する場合は、別紙により記入する。
- 11 年は西暦を用いる。

(2) 教育・学会・研究助成・特許等一覧(別紙様式2-1～2-3)

- 1 教育実績欄の「内容」は過去10年間の実績として学部学生・大学院生などの教育に携わった具体的内容(講義・実習など)を記載する。「時間/年」はコマ数ではなく実時間

を目安として記載する(例:90分授業は1.5時間)。他大学での非常勤講師等も含む。
また、別項を設け、動物実験施設の管理運営等の経験についてその期間と内容を具体的に記述する。

- 2 学会活動欄には所属するすべての学会をあげ、評議員・理事などの役職名をカッコ付きで記載する。
 - 3 研究助成欄は過去10年間の公的機関あるいは民間の研究助成団体からの助成金を経年的に(古いものから順に)記載する(単位万円)。日本学術振興会科学研究費補助金は種目名(基盤(B)など)を記載する。代表研究者の場合は当該研究課題(班)全体の金額と本人の受領分を記載する。分担研究者の場合は研究課題名の後に代表研究者名も記載し、当該研究課題(班)全体の金額と本人の受領分を記載する。複数年度にわたる場合はその総額を記載する。本人取得分が明確に出来ない場合は不明と記載する。
 - 4 特許欄は、特許名称、発明者、出願人、出願日、出願番号、公開番号、取得した場合は公告・特許番号、を記載する。国外の特許を取得した場合は、その国名も記載する。
 - 5 各欄が不足する場合は、別紙により記入する。
- (3) 業績目録(別紙様式3-1～3-5)

1 論文業績

- ・ 「原著」欄は欧文原著のみ経年的に番号を付して記載する。
- ・ 「著書」「総説」「その他」欄は、欧文・和文に群別した上で、それぞれ経年的に番号を付して記載する。
- ・ 著者名は原文の順に共著者名もすべて記載し、本人の名前に下線を付す。
- ・ 書式用紙が足りない場合は同様の書式でページを追加する。

1) 原著

- ・ 原著は、PubMed 収載誌に掲載(印刷中を含む)されたものを記載する。但し、査読審査を経たもののみを記載し(症例報告も同様)、学会等の抄録は原著形式の記述であっても含めない。
- ・ 記載形式は、PubMed の Summary Format に準拠し、「著者名」(全員)、「論文の題名」、「掲載誌・発行年(西暦)；巻：初頁-終頁・PMID」の順に記載する。
- ・ 応募者が筆頭著者または Corresponding author となっている論文には、論文業績リストの番号に * を付す。
- ・ 原著論文の中から主なものを10編以内選び、それぞれの別刷1部を添付する(コピー可)。

2) 著書

- ・ 「著者名(全員)」、「論文題名(分担執筆の場合)」、「編集者・監修者名」、「書名」、「出版社名」、「初頁-終頁」、「発行年(西暦)」の順に記載する。

3) 総説

- ・ 年報・紀要・記録集などは除く。和文の場合は、医学中央雑誌に収載されたものだけを記載する。記載方法は原著記載の要領に準ずる。

4) その他

- ・ 上記の分類に該当しないが重要な業績と思われるもの(PubMed に収載されていない欧文原著、受賞記念論文集、書籍の編者など)について記載する。記載形式は原著・

著書の記載要領に準ずる。

(注) 印刷中のものは校正刷または受理証明書のコピー (応募時点で採択されているもの) を添付する。

2 学会発表

- ・ 特別講演・招待講演・教育講演・シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップなど (国内学会は一般演題を除く、国際学会は一般演題も含む) について、経年的に記載する。演者名は原文の順に共同演者も含めて記載し、本人の名前に下線を付す。
- ・ 「演題名」(シンポジウムなどでは主題名の次に「演題名」)、「演者名」、「学会名」「発表年 (西暦)」「演題種別」を記載する。

(4) 業績集計表 (別紙様式4-1～4-2)

記載例を参照し、以下の事項に留意して記載する。

- 1 「研究主題」は主なものを3項目以内で記載する。
- 2 「主な所属学会」をあげ、役職名 (理事・評議員など) をカッコ付けで記載する。
- 3 様式4-1には、原著、著書、総説の年度別の数を、学会発表は合計した数を記入する。
原著は、PubMed 収載の欧文誌のみとし、共著欄の「主」とは筆頭著者または Corresponding author として発表した数、「共」とは第2番目以後の共著者として発表した数を示す。
- 4 様式4-2には、「原著誌名」(PubMed 収載の欧文誌のみ) をアルファベット順に記載し、論文数を記入する。
共著欄の「主」「共」の分類は、様式4-1と同じとする (様式4-2はあらかじめ必要枚数をコピーして用いる)。様式はExcel フォーマットになっているので、論文数等は自動的に集計されます。

(5) 別刷論文の要旨 (別紙様式5)

業績の中から別刷を添付した論文について、論文題名、雑誌名、掲載年、200 字程度の要約 (専門分野外の人にも解るよう、研究の独創的な点、意義を中心に述べる) を邦文で簡潔に記載する。書式用紙が足りない場合は同様の書式でページを追加する。

III. 公募期間

2008年 (平成20年) 5月19日 (月) から6月18日 (水) まで (消印有効)

IV. 送付先

応募書類は書留郵便とし、表に「実験病態モデル医学教授候補者応募書類在中」と朱書きし、送付する。

宛先: 〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

名古屋市立大学大学院医学研究科 医学研究科長 郡健二郎

V. その他

選考の過程で候補者の方々にアンケートおよび当研究科においてセミナーをお願いすることがあります。予めご承知おきください。